



# 九条の会. ひがしなだ ニュース

第37号

2013年2月

事務局 中村陽一 Tel&Fax 811-4562 E-mail [youichi-nakamura@kcc.zaq.ne.jp](mailto:youichi-nakamura@kcc.zaq.ne.jp)

## 7周年記念講演会を成功させよう!

既にご承知のように、3月31日、14:00から、神戸市勤労会館308号室で、小森陽一氏（九条の会事務局長・東京大学教授）を講師に招いて、「どうなる憲法 どうなる私達の暮らし」というタイトルで当会の7周年記念講演会を開催します。120名収容の会場ですが、会場をあふれる聴衆を集めて、講演会を成功させましょう。

昨年末に行われた総選挙は、原発反対運動、オスプレイ配備反対運動、TPP参加反対運動などが大きく盛り上がる中で闘われましたが、残念なことに、改憲勢力が衆議院で3分の2を超えるような結果になりました。

この結果をどう受け止めて九条の会の運動を進めていけばよいのかという大きな課題が我々に課せられています。

運動の盛り上がりと選挙結果の乖離があまりに激しいため、気が滅入ったり、このまま参議院選挙も敗れて、ずるずると憲法を変えられてしまうのではないかといった敗北主義的な気分に落ち込んでいる方も多いかと思われますが、小森氏の分析や見通しを伺って、それを力に運動を盛り上げていきたいと考えています。

2月5日に行われた一橋大学名誉教授の渡辺治氏の「総選挙後の憲法情勢をどう見るか」という講演会は大変刺激的でした。氏は、運動が盛り上がっていたのに革新勢力が伸びなかった理由は、やはり選挙制度に問題がある。

ここ12年余りの少数政党の社民党、共産党、公明党の得票率の変化をみると、いずれもほとんど同じか漸減傾向にある。これは、選挙民が小選挙区制では死に票になるからと言って少数政党に投票しないからであろう。投票している人は、何がなんでもその政党でないと思込んでいる人だけだ。選挙制度を変える運動に本気で取り組む必要がある。そうした中でも、運動が政治を変えた新たな芽として、被災3県での共産党票の伸び、沖縄での共産党票の前進、都知事選での共闘の成立、がある。また、九条の会は中高年層が多く若者が運動に参加してこないが、中高年層にとってはまさに闘いで九条を守ってきたという実感があるだろうが、若者にとっては九条は生まれと時からある空気みたいなものに関心を示さないのだろう。自民党と維新の会の憲法改正案をよく学習して、炎のように燃えて、自分の言葉で人々に批判できるようになろう。などと述べました。

小森氏の講演会で敗北主義を吹き飛ばし、新しい日本の夜明けを作り出したいものです。

(中村陽一)

九条の会. ひがしなだ

## 7周年記念講演会

とき：3月31日(日) 13:30開場 14:00開演  
ところ：神戸市勤労会館 308号室

第1部 講演会

「どうなる憲法  
どうなる私達の暮らし」

講師：小森陽一先生  
東京大学教授  
九条の会事務局長

第2部 九条の会. ひがしなだ総会

入場無料(成功協力券 500円)  
主催：九条の会. ひがしなだ  
協賛：9条の心ネットワーク  
芦屋「九条の会」

お問い合わせ 090-7366-9420 (中村)  
ホームページ <http://higashinada9.at.webry.info/>




九条の会. ひがしなだ 7周年記念講演会チラシ

## 私の戦争体験（１）、（２）のパンフ販売活動の結果

昨年の10月より、これまで行ってきた「シリーズ 私の戦争体験」の集いの体験談をまとめたパンフレットを発行し、その販売活動に取り組んできました。ニュース134号～136号に紹介したような、様々な集会に参加して呼びかけたり、立ん棒をしておすすめしたりなどの活動の結果、2011年度の活動をまとめたパンフ（1）は200部以上、2012年度の活動に特別企画として元日本生命副社長の弘世徳太郎氏へのインタビューを含めたパンフ（2）は1100部以上販売することができました。この活動を通じて色々な団体の方々や、多くの人々と交流を深めることができました。また、九条の会、ひがしなだという団体を多くの方々に認知して頂くことができました。これからもこうした活動を続けていきたいと考えています。

この活動は、朝日新聞、毎日新聞、大阪民主新報に紹介されました。掲載された記事を以下に紹介します。（中村陽一）

朝日新聞 2012年11月1日

# 戦争 私の筆で残す

「九条の会・ひがしなだ」が証言集



神戸市東灘区の市民団体「九条の会・ひがしなだ」が、神戸空襲など戦争体験者の証言を集めた冊子を作っている。今年1月に第1号を発行。9月下旬に第2号をまとめた。区内に住む戦争体験者の講演会を開いてきたが、多くが80歳を過ぎ、講演することが難しくなってきたため、文字で語り継ぐことにしたという。

会は、作家・大江健三郎さんらの呼びかけで発足した「九条の会」に賛同され、区在住の演出家や弁護士らが2005年に結成。「戦争の放棄」をうたう憲法9条の大切さを訴えている。

冊子の第1号（A4判27頁）には、4人の手記を収めた。岡井理一さん（91）は1944年夏、南太平洋のパラオ諸島で、迫る連合軍の前に死を覚悟した。「私は24歳で生命を絶つのかと半ば自暴自棄になり、銃に実弾を込めて、捕虜になるより自決するほかないと……」。幸い、戦闘に至らなかったが、「今から見れば、なんと言う馬鹿馬鹿しいことかと思われませんが、当時はそう教え込まれていました」。

14歳だった榎本弘さん（81）は、神戸でたび重なる空襲を体験した。家々が焼かれ、級友が次々と亡くなっていくなか、「もう敵も味方もない。なぜ大人はこういう馬鹿げたことをするのか」と怒りに震えた。

第2号（A4判36頁）は3人を収録。出石に学童集団疎開した米倉澄子さん（77）は「毎日、お碗一杯の雑炊、といってもほとんど具はありません。農家の畑へ行き、細い大根を引き抜いて、川の水で洗って食べました」と食料難に苦しんだ。

元日本生命副社長・弘世徳太郎さん（88）は旧制甲南高校時代に徴兵され、学徒出陣。「いずれは死を覚悟して戦地に赴く身であることに胸をいためた」という。「大切なことは戦争ムードをつくらない、平和への絶えざる発信を続けていくこと。もっと強く、9条の精神を世界に発信しないといけない」と訴えている。

会では、今後も証言を集めた冊子を発行していく予定だ。事務局次長の田所明治さん（66）は、「戦争体験者たちが、自分の声、自分の筆で残す平和への思いを大切にし、憲法9条を守っていききたい」と話す。

冊子は郵送販売のみ。第1号は300円、第2号は1冊500円（いずれも送料込み）。問い合わせは同会（078・811・4562）へ。（堀田浩一）

## 高齢化で講演困難、2冊発行

「捕虜より自決」教え込まれた／家や友失い「敵も味方もない」

朝日新聞（2012.11.1）の紹介記事

# 神戸

毎日新聞 2012年11月19日



**支局長からの手紙**  
 国際協力、障害者スポーツ、性暴力被害者支援……。さまざまな分野のボランティアたちが真剣な表情でプレゼンテーションに臨みました。10月30日神戸市内であったNPO法人「しみん基金・こうへい」（理事長・黒田裕子さん）による公開審査会。審査にパスすると、基金から助成を受けることができます。私も審査員の末席で加わりましたが、絞り込まれた20団体だけに選のは大変。本日はどの団体にも助成したかったのですが……。結局8団体に計299万円が助成されることになりました。



訪ねられました中島さんは、戦した。今回で7冊目になります。争放棄をうたった憲法9条の、確かに、1945（昭和20）年8月15日に終戦となった太平洋戦争を経験された人たちは高齢になっていきます。「もう二度と戦争は嫌だ」という気持ちをはるかに伝えるため、会のメンバーは、こうなりました。今回は、元日本生命副社長を証言を集めていきます。中村陽一さん（83）同中央さん（86）同左です。この

**市民の力**  
 中村陽一さん（83）同中央さん（86）同左です。このほど同会が発刊したシリーズ「私」の戦争体験」をお持ちいただきます。また、「日本人はしる（クス兼用）」

## 元日生副社長が9条への思い語る 九条の会・ひがしなだが冊子



元日本生命副社長のひがしなだは、小乃里子代表世話人が今秋発刊した冊子「シリーズ・私」の戦争体験2冊に登場。同会の特別企画に登場。同会のインタビューに答え、学徒動員の体験を基に、「九条は世界平和のため、九条は世界平和のため、肉親攻撃の絶望ををさ

べきはありませんと熱く語っています。私世さんは、1944（昭和19）年9月、旧制甲南高等学校時代に徴兵され、姫路師範の野戦部隊に入隊。島取、岡山などに駐在し、夜間訓練、対戦車、肉親攻撃の絶望ををさ

大阪民主新報(2012.12.16)紹介の記事

毎日新聞(2012.11.19)の紹介記事

**お芝居大好きテアトル9～演劇鑑賞会の仲間と作っている九条の会です**  
 神戸演劇鑑賞会は、会員制の芝居を観る会、平和でないとお芝居は観られません！一緒に九条を守りましょう！

### 観劇(感激)時間作りませんか

\*\*\* 4月例会のお誘いで～す♪ \*\*\*

俳優座劇場プロデュース公演

### 『音楽劇 わが町』

1938年以來、世界各国で上演されている名作を音楽劇に再構成♪

4月14日(日) 3:00 15日(月) 6:30

会費は月3,500円、入会金1,000円 神戸文化ホール(中)

神戸演劇鑑賞会・テアトル9 田中千津子

【連絡 078-821-2748 田中 まで】



## 故口分田勝さんを偲ぶ会、4月14日に ハーバーランドの産業振興センター10階で

医療活動や民主・平和運動などに大きな足跡を残され、9条の会にも暖かいご支援をいただいた口分田勝（くもで・まさる）さんが、昨年12月2日に逝去されて、はや2カ月以上が経過しました。安倍内閣の発足に伴って、改憲の危機が叫ばれる中、もう少し活躍し、ご援助もいただきたかっただけに、残念でなりません。

「口分田勝さんを偲ぶつどい」が、4月14日（日）午後2時から、JR「神戸」駅南側、ハーバーランド入口に近い産業振興センター10階レセプションルームで行われます。会費5000円。

いま、兵庫県保険医協会の池内春樹理事長、東神戸医療互助組合の漁島国弘理事長ら10人が呼びかけ人となって、準備が進められています。事務局は電話078・393・1801。

故人となった口分田勝さんは、生田診療所長を定年退職後、東灘区の阪急「岡本」駅近くの山手幹線沿いに口分田玄瑞診療所を開設。播州赤穂藩のご典医だった先祖にちなんだ診療所名は、大きな話題となり、今はご子息に引き継がれています。

その傍ら、反核医師の会代表、兵庫県保険医協会の理事など、公職を多数歴任し、東灘区原水協の会長などもつとめられました。

（田所明治）

## 芦屋の発送作業に参加 東灘のチラシも同封

3月末の7周年記念・小森陽一さん講演会は、9条の心ネットワークと芦屋「九条の会」の協賛を得て、新たな広がりの中で開催を予定しています。芦屋「九条の会」が、会報に同封して、東灘の案内チラシを発送してくれる、というので、2月14日（木）の午前中、その作業に参加してきました。

場所は、阪神「芦屋」駅の南東、2分くらいの「芦屋市民活動センター」。昨年秋の史跡戦跡めぐりで立ち寄った、白洲次郎の生まれ育った土地の一角で、芦屋市立精道小学校の北隣に当たります。各種サークルなど市民活動の拠点となる施設で、会議も作業も可能な所で、印刷設備、ビラ折り機もあって、とても便利。集まった面々は、私も含めて計7人で、半分以上を元気な女性陣が占めているのが、活発な活動の要因となっています。この日の夜は、昼間には集まらない人も含めて、世話人会を開催。

ニュースの郵送分は、約600ですが、世話人・事務局員らが友人・知人や近所に手配りする分も含めて、印刷は実に4000。自主的に100、200、1000枚と持ち帰って配るのです。この足腰の強さが、数百人を集め、芦屋ルナホールを満席にする原動力になっています。民主団体などに依存しないのも、大きな特徴です。



市民活動センターでの印刷風景



人海戦術で折り込み、発送作業

くも芦屋市のほか、教育委員会の後援も実現させています。

郵送分は、東灘の案内チラシのほか、先般の映画会の感想まとめも同封して、郵便局へ。市内特別割引を利用するのですが、どう見ても市外の方が多く、他府県にも及んでいます。宅配メールではなく、あえて郵送にしているのは「この方が、広告・宣伝と間違えられて、捨てられることも少ないから」と、こだわっています。

この芦屋市民活動センターは、4月から、芦屋税務署近くの芦屋市分庁舎（改装中）に移転の予定。会議室（2室合計100人）もあって、いっそう便利な環境下で、さらなる活動の飛躍が期待されています。

ちなみに、芦屋「九条の会」は、芦屋市の公認登録団体の資格も得て、講演会や映画会などの会場確保でも有利な立場。イベントの多  
(田所明治)

## シリーズ 9条の会訪問記（その14） 西神ニュータウン9条の会 「継続は力」で元気 東北支援・DVD鑑賞会なども

三宮から西北へと延びる市営地下鉄の終点「西神中央」駅に近い西区民センターを拠点に活動する「西神ニュータウン9条の会」の元気さが、目立っています。

結成準備は慎重に進め、2006年11月にワールド記念ホール（中央区）で行われた「はばたけ！九条の心

11・3憲法集会」に刺激をされて、発足総会はその年の11月25日に開催。税理士、作家や元教員ら16人が呼びかけ人となり、45人が集まってスタートしました。以後は毎月2回の例会を基礎に、文字通り「継続は力」を絵に描いたような歩みです。

そして迎えた6周年の集い（2月10日）には、弁護士で法学館憲法研究所の所長でもある伊藤真さんを招き、「今を生きる私たちの選択」と題した記念講演に、約180人を集めて大成功させました。

記念講演に先立って行われた総会では、毎月第1金曜日の夜に行われてきた「企画＋交流」の集まりが、2月1日の総会準備で169回目を迎えたことを報告。毎月第3金曜日の学習会などが、昨年12月21日の「総会に向けての憲法徹底討論＋忘年会」で累計167回。

定例会の参加人数はここ1年、少ない時で5人、多い時で数十人といったところですが、「金曜日の夜は、9条の会へ」をスローガンに、自宅を会場に開放してきた市原秀美事務局長によると、「平和なればこそ楽しめる趣味、旅行の話や楽しい歌も含めて、緩やかにやってきたからこそ続いたのでしょう」。見逃せないのは、たびたび近隣の9条の会との交流会や、多彩なゲストを招いたホームパーティを開いていること。「事前にご連絡いただければ、車で送迎いたします」というのも、嬉しい配慮ですね。他に東北支援や反原発バスツアーなどにも取り組み、総会前には13人が参加して案内チラシを4000枚ほど各戸配布するなど、行動力を発揮しています。

そして、今後の活動では、①恒例となった毎月第1、第3金曜日夜の集まりと月1回のDVD鑑賞会の充実およびブログの普及 ②改憲の動きに抗し、草の根での結び付き強化 ③会員、カンパ増で財政確立——などを重点としています。



伊藤真講師に質問タイム



総会で多彩な活動を報告

(田所明治)

---

## これからの催し物

★★★2月24日(日) 13:30～

**小林多喜二没後80年、生誕110年記念集会**

主催:多喜二記念集会実行委員会

講演:ノーマ・フィールドさん(シカゴ大学名誉教授)

『いま、いかに多喜二と対話するか』

鼎談:ノーマ・フィールド

小森陽一東京大学大学院教授

島村 輝フェリス女学院大学教授

参加協力券¥1200

(連)078-351-0388

(共同センター週間ニュース NO. 388号 2013.1.31(木))

★★★2月23日(土) 14時～

**憲法を変えて、どんな日本にするの・学習会**

主催:全日本年金者組合芦屋支部

講師:四ッ谷光子さん・元衆議院議員

場所:芦屋市民センター別館114号

(連)0797-35-1503

(共同センター週間ニュース NO. 390号 2013.2.14(木))

★★★3月10日(日) 13時～

**東日本大震災「あれから2年」大集会**

主催:実行委員会・原発をなくす兵庫の会

場所:神戸市役所南・東遊園地

人文字「NO NUKES」づくりに協力を! 12時～準備

福島県からの避難者のうたえ・物販あり

集会後パレード(創意有る宣伝物持参を)

(連)078-335-3770

(共同センター週間ニュース NO. 390号 2013.2.14(木))

